

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271300525		
法人名	有限会社正心		
事業所名	グループホームせいしん		
所在地	千葉県野田市中根207		
自己評価作成日	平成23年4月12日	評価結果市町村受理日	平成23年6月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの思いや望みを大事にしていく。

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成23年4月29日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム せいしん」は、入居者一人ひとりを大切に、家庭的な環境の中での生活を支援している。常に、入居者の立場に立って検討を重ねており、現状に即したケア・本人本位のサービスの提供に取り組んでいる。早い段階で家族と終末期における話し合いを行い、介護計画に反映させており、意向に沿った終末期の支援が行えるよう工夫している。面会の呼びかけや生活の様子を報告を通じて家族とのコミュニケーションを図り、入居者・家族の関係継続に繋げている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+Enter)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(人そのために) 朝礼等で各自に唱和して頂き理解してもらっている。	「人そのために」を主眼とした法人独自の理念を掲げ、明文化し、施設内に掲示していると共に、朝礼や会議等にて唱和し、職員全員にて理念の浸透を図っている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの寺社等での祭りに参加したり、床屋に行ったり、買い物に行く等して、まわりの人に理解して頂くよう努めている。	散歩や買い物等の際に、近隣住民とは挨拶をする関係が構築されている。地域行事への積極的に参加し、地域との交流を図り、施設理解の促進に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	該当無し。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	面会等の協力はあるが、会議を行うと連絡すると用事があるのでと不参加になり開けない。	施設としては運営推進会議の必要性は理解しているが、運営推進会議の開催には至っていない。今後は地域交流の促進に向けて、運営推進会議開催を目指している。	運営推進会議の開催を通じて、施設の理解促進・地域との交流・行政との情報交換等を行い、地域ニーズや施設の課題の把握に繋げて頂く事を期待します。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に連絡を取り合い相談しながら行っている。	市に対しては業務全般の報告や相談等随時行っており、市との連携を図っている。定期的に市の介護相談員が来訪し、意見を参考にながら適切な施設運営に努めている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行っている。	身体拘束排除に向けて施設方針やマニュアルを整備していると共に、朝礼等の機会を活用し随時研修も実施しており、全職員が身体拘束排除における意義を理解している。日中は玄関のカギを施錠せず、センサーチャイムを活用しながら安全確保をした上で、入居者の自由な生活を支援している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	行っている。		

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	該当無し。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	行っている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行っている。	苦情相談窓口の設置をすると共に、家族の面会時や電話連絡時に直接意見や要望を確認している。また、介護相談員の受け入れやアンケート調査を行い、様々な方法で意見・要望の収集に努めている。挙げた意見・要望は、ミーティングや朝礼にて、周知・検討を図り、適切な改善に取り組んでいる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも聞いている。 不在の時はメモが置いてある。	ミーティング・朝礼等を通じて、職員からの意見・提案を確認していると共に、管理者が日々の業務の中で個別に話をする機会を設け、職員の思い・意見・要望を確認するよう努めている。また、資格取得や研修参加等の希望に応じて、勤務体制の調整を行い、スキルアップに向けた支援に取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努力中。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要性は理解しているが、なかなかできないのが現状である。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同上。		

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居希望時の見学の時間を多くとり、話し合いを行うことにしている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>行っている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>通院や受診等医療サービス等についても対応している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>お手伝いなど一緒に行うようにしている。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>誕生会等家族にも参加してもらっている。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会・外出・外泊は自由です。又、親族の方1名は本人の部屋に泊まることも可能です。</p>	<p>入居者・家族から生活暦・趣味・特技等を確認しており、一人ひとりの意向に即した、馴染みの生活習慣に配慮した支援を行っている。また、長期の入居者には、家族の面会や外出・外泊の機会を積極的に作る等、家族との関係継続の支援にも取り組んでいる。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>みんなが自発的に助け合って生活しています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>特養等に移られても家族より連絡があれば対応しています。</p>		

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行っている。	契約時に本人・家族から生活歴・意向・身体状況等を確認し、記録している。必要に応じて医師からの情報提供を受ける等、より詳細な情報の把握に努めている。入居後は、日々の生活の中から意向を汲み取り、記録し、会議・朝礼等で意見・情報交換をしながら、本人本位の検討や情報の共有に取り組んでいる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	行っている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	理解している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	なかなかうまくいかない状況である。	本人・家族の意向や記録をもとに、会議にて職員や関係者と意見・情報交換を行い、介護計画を作成している。また、定期的に介護計画の評価や目標達成の確認を行い、生活状況に変化が生じた場合や必要時には介護計画の見直しを行っている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録の書き方について話し合い中ですが、支援記録を書くということがうまくいっていないのが現状です。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その場その場で対応しています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	支援できるよう対応しています。		

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望に沿って行っています。</p>	<p>希望のかかりつけ医への受診が可能となり、希望に応じて職員による受診の付添い支援が行われている。協力病院とは医療全般における相談・家族への説明・緊急時の対応等、協力体制が構築されている。その他にも、内科医による往診や歯科医の往診が実施されており、入居者へ手厚い医療支援が行われている。</p>	
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>当ホームには看護職はいません。介護員さんより得た情報は担当医に連絡し指示を受けるような対応をしています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の洗濯物はホームで行ったりして面会を多くしています。又、家族が対応できないときは入院後もホームで行うなど協力体制を大事にしています。</p>		
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>行っています。</p>	<p>重度化・終末期においては契約時に施設としての対応を家族に説明し、同意を得ている。必要に応じて早い段階から家族と話し合いをし、意向の把握に努めると共に、終末期・重度化した場合には、協力病院と連携を図りながら意向に沿った支援が出来るように体制を整えている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>学習会でそのつど相談があれば説明し実技も行っています。</p>		
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>できていない。</p>	<p>避難経路等の確保・非常災害時のマニュアルの整備すると共に、スプリンクラーや消火器等を設置し、非常災害時に備えている。日頃の散歩の際に地域住民に災害時における協力の呼びかけを行う等、非常災害時の地域の協力体制作りにも努めている。</p>	<p>今年度は消防避難訓練が行われておらず、早急に、訓練を実施すると共に、定例化する事により、様々な避難方法・対応方法を身に付ける事により、緊急時・災害時の対策を図って頂く事を望みます。また、日頃のコミュニケーションや運営推進会議等を活用し、地域との協力体制をより万全にして頂く事を期待します。</p>

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行っているが、全ての介護員がとはまだいっていないのが現状です。	プライバシー保護に関するマニュアルが整備されており、内部研修も積極的に実施している。日々の生活において職員は、人生の先輩として敬語を使い、家族面会時には入居者の尊厳に配慮した対応を心掛けている。また、入居者の立場に立って支援方法を検討するようその都度指導を行っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望は優先しています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	まだまだ全介護員がとまではいいません。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧品やスカート、髪型などに気をつけるようにしています。又、いつも清潔な衣類が着られるよう対応しています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できるだけ共に行ってもらえるようにしています。	入居者の希望や能力に応じて、食事の準備・調理・片付け等を職員と共同で行っている。献立においては、業者の管理栄養士が作成しており、栄養バランスに配慮された食事となっている共に、食事担当の職員が調理法の工夫を行い、身体能力に合せた食事提供がなされている。食事の開始時間を工夫し、一人ひとりが自分のペースで食事を楽しめるよう支援している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている。又、訪問歯科のドクターにも協力を得ている。		

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	行っている。	排泄チェックリストを活用して、個々の排泄パターンを把握している。また、プライバシーに配慮した声掛け・誘導を心掛けながら、排泄の自立支援に向け取り組んでいる。夜間においてはトイレ誘導やポータブルトイレの使用により、適切な排泄支援が行われている。また、食事内容や水分量に気を配り、必要に応じて医師と相談しながら便秘対策にも取り組んでいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	できる限り食事の時は2Fより1Fに移動して頂いたりお手伝いをしてもらう等、体を動かして頂くようにしています。又、主治医と連絡を密にして対応しています。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2回月と木曜日と決めている。その他随時も行っている。(湿疹ができた、汚れてしまった)等の時。	入浴においては週2回実施しているものの、希望に応じて曜日・回数・時間等、柔軟に対応している。浴室には転倒防止マットや手すり等が設置されており、入居者の安全が確保されている。また、必要に応じて、シャワー浴・部分浴・清拭等を実施し、入居者の清潔保持にも努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行っているが、寝たきりの人、認知症が重度化している方に対してしているとは答えられないと考えている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出・外泊は自由となっています。できる限り買い物、近くの祭り、床屋さん、散歩等に行かれるよう対応していますが、一人一人の希望に沿っては無理な状態です。	入居者の希望・体調・天候に応じて、散歩や買い物等の日常的な外出支援を行っている。入居者の習慣・希望・身体状況・季節等を考慮しながら外出の機会を設けていると共に、外出が困難な入居者には家族を交えたり、職員が身体状況に配慮しながら対応しており、外出が楽しめるように工夫している。	

【千葉県】グループホーム せいしん

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行くときは自分でお金を払っておつりを頂いています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	行っています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫をしていますが、現在はできるだけ節電に努めています。	施設は2階建てとなっており、身体状況に合せた生活が可能となっている。各階の共有スペースにソファやテーブルが設置されており、入居者が思い思いにくつろげるように配慮されている。1階のリビングで静養する事も可能となっており、身体状況に関わらず、適切な見守りができるよう工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1Fに降りてきて塗り絵をしたり話しをされることもあります。2Fフロアーで皆さんと過ごされる方が多いです。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自由となっています。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるように配慮されている。ベットや畳等、本人の生活歴や好みのスタイルに合せた居室作りがなされている。全居室にはエアコンが設置されており、適切な空調管理が行なわれている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の部屋が分かるようにしたり、トイレが分かるようにしたりしています。		